

令和2年度 障害者とその家族の孤立化防止の取り組み事業の報告

1. 事業の目的

障害者とその家族が地域で孤立することなく生活を送っていくため、孤立を防止する活動を行うとともに、地域で障害や障害者についての理解を促進することを目的とする。

2. 事業の内容

- (1) 孤立が懸念される障害者世帯の訪問活動
- (2) 障害者を養護する者が気軽に参加し、懇談できるサロンの開催
- (3) 支援者・各支援主体等への啓発活動およびネットワークづくりの検討

3. 事業参加団体

- ・ 特定非営利活動法人草津手をつなぐ育成会
- ・ 草津市肢体不自由児者父母の会
- ・ 草津市精神障害者家族会ひまわりの会
- ・ 草津市民生委員児童委員協議会
- ・ 草津市社会福祉協議会
- ・ 草津市健康福祉部障害福祉課
- ・ 特定非営利活動法人草津市心身障害児者連絡協議会（事務局団体）

4. 活動内容

(1) 孤立化防止検討会

①第1回孤立化防止検討会 開催日8月6日（木） 参加者16名

（内容）令和元年度の振り返りと、令和2年度の取り組み、年間スケジュールについて説明した。サロン活動については、前年度までの一極型から物理的にも参加しやすい分散型の環境を作ることで合意し、中学校区6か所のまちづくりセンターでの開催が決定した。

【活動期間】

- ・ 訪問活動 10月～2月
- ・ サロン活動 11月～1月

②第2回孤立化防止検討会 開催日9月9日（水） 参加者17名

（内容）訪問対象者の選出と訪問担当者の選定を行った。サロン活動については、開催方法の検討とチラシの内容について確認した。また、民生委員のサロンへの参加等については市障害福祉課に一任することとし、協議検討のうえ決定および実施する方向性で全会一致した。

③第3回孤立化防止検討会 開催日12月7日（月） 参加者17名

（内容）11月開催のサロンについて振り返り、良かった点や改善点などを話し合った。また、アドバイザーの立命館大学田村先生より「訪問活動の意義と基本について」ご講義いただき、その後グループに分かれて訪問活動について体験談や意見交換を行った。

④第4回孤立化防止検討会 開催日2月24日(水) 参加者18名

(内容) サロン活動について、各会場および総参加人数の報告があった。次年度に向けて、市障害福祉課より活動方針、方向性の提案があった。訪問対象者の管理は市と事務局で行い、訪問活動の主体は市と事務局に置く。なお、継続対象者についてはこれまでの繋がりを重視して各団体に協力をお願いする。サロン活動は規模を縮小して、より参加しやすい場の提供を検討する。また、学習会として各家族会や民生委員、関係機関が参加できる座談会を開催し、支援者の繋がりを作るとともに孤立化防止の啓発を行う。

(2) 訪問活動

①訪問対象者について

前年度訪問した世帯とこれまで継続して訪問している世帯については、関係性も深まってきているため引き続き対象者とした。新規対象者は、各家族会、ほっとココよりリストアップした。

これにより、今年度は継続18世帯、新規9世帯の27世帯を訪問対象者とした。

②訪問担当者について

障害種別ごとに、知的障害者は「育成会」、身体障害者は「父母の会」、精神障害者は「ひまわりの会」が担うことを前提に検討した。その中で、市職員が同席することで効果がある場合と、障害者の親同士の方が言いたいことが話せる場合があるため、それぞれのケースに合わせてペアを選定した。

③訪問活動について

継続対象18世帯のうち、訪問を実施したのは14世帯、電話での聞取りが1世帯、訪問を希望しない方が3世帯あった。新規対象9世帯のうち、訪問を実施したのは1世帯、電話での聞取りが4世帯、訪問を希望されない方が1世帯、返信なしが3世帯であった。

【訪問活動の評価】

訪問を継続していく中で信頼関係や安心感が蓄積され、関係性の構築ができてきている。訪問員は解決を探るのではなく、曖昧・微妙な関係性に対して切れかかっている糸をしっかりと繋ぎ太らせていく役目を担っている。いかに継続して訪問活動を豊かに充実させるかが今後の課題であるが、もう一方で、段々と受け入れられる訪問活動になってきている分、チームをいかに作ってこの活動を活かすのかが必要になってきている。

(3) サロン活動

①ふくふくサロン第1回

日時 11月9日(月) 13:30~15:30

場所 常盤まちづくりセンター

参加者 32名

②ふくふくサロン第2回

日時 11月18日(水) 13:30~15:30

場 所 志津南まちづくりセンター

参加者 24名

③ふくふくサロン第3回

日 時 12月2日(水) 13:30~15:30

場 所 笠縫まちづくりセンター

参加者 27名

④ふくふくサロン第4回

日 時 12月23日(水) 13:30~15:30

場 所 老上西まちづくりセンター

参加者 23名

⑤ふくふくサロン第5回

日 時 1月6日(水) 13:30~15:30

場 所 渋川まちづくりセンター

参加者 24名

⑥ふくふくサロン第6回

日 時 1月20日(水) 13:30~15:30

場 所 玉川まちづくりセンター

参加者 24名

【サロン活動の評価】

コロナ禍での開催となったが、今年度から民生委員の積極的な参加もあり沢山の方に参加していただいた。同じ立場の養護者同士で話ができるように障害種別ごとにテーブルを分け、各家族会が進行役を受け持った。普段は話せないことや悩み事など語り合うことができ、民生委員との交流や相互理解の機会となり大変実りあるサロンであったと言える。しかしながら、大勢でのサロンは当事者が参加しづらいこともあり、サロンの在り方や方針を見直す必要がある。

5. 次年度に向けて

- ①孤立が懸念される障害者世帯への訪問活動
- ②障害者とその家族が気軽に参加し、懇談できるサロンの開催
- ③支援者・各支援主体等への啓発活動およびネットワークづくりの検討

6. 令和2年度「障害者とその家族の孤立化防止の取り組み事業」事務局団体

特定非営利活動法人 草津市心身障害児者連絡協議会

事務局 草津市立障害者福祉センター

代 表 理事長 園田実乗